

平成25年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 アプライド株式会社
 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,932	7.1	355		342		353	
24年3月期第3四半期	18,228	0.1	13	89.5	107	42.1	73	49.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 351百万円 (%) 24年3月期第3四半期 77百万円 (48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	271.11	
24年3月期第3四半期	54.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,595	3,109	26.2
24年3月期	12,280	3,673	29.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,032百万円 24年3月期 3,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		30.00		50.00	80.00
25年3月期		30.00			
25年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,680	0.9	140	30.3	200	35.0	108	45.7	83.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	1,351,600 株	24年3月期	1,351,600 株
期末自己株式数	25年3月期3Q	96,398 株	24年3月期	398 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	1,304,395 株	24年3月期3Q	1,351,202 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要などにより緩やかな回復の兆しはあったものの、欧州の債務危機の長期化に伴う景気後退、中国経済の成長鈍化や累計期間を通しての円高などにより、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、専門店としての商品力・技術力・提案力を活かし、グループ各社の強みを伸ばし、他社との差別化を明確にすることにより、顧客層の幅を広げ、事業の拡大を推進いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」15店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を運営し、それぞれの専門店としての特徴を際立たせました。

法人顧客向けにおきましては、大学・官公庁・法人のIT需要に即応すべく、営業拠点の拡充を行い、大都市圏に核となる営業部を設置し、店舗展開を行っている地方都市を中心に営業所・出張所を開設いたしました。また、専門店としての技術力を活かした高付加価値商品・サービスの提供を強化し、他社との差別化を推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は169億32百万円、利益面におきましては、個人消費低迷に伴う売上高減少の影響や法人部門の強化に伴う一時費用の発生等により、経常損失は3億42百万円、四半期純損失は3億53百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

パソコン・ゲーム事業は、専門店として、プライベートブランド製品や技術サービスの提供に注力することにより、他社との差別化を図り、売上高は161億74百万円となりました。

化粧品・雑貨事業は、美容家電を中心とした新規プライベートブランド製品の開発を拡大し、店舗の品揃えを強化したのに加え、卸売業の販売先を拡大することにより、売上高は5億17百万円となりました。

出版・広告事業は、情報誌の出版に加え、グループの持つデジタル系の強みを活かした企画本の発刊に加え、レンタル事業や代理店事業等に注力し、売上高は2億41百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億84百万円減少し、115億95百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少3億83百万円と現金及び預金の減少1億82百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少し、84億86百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億37百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ5億63百万円減少し、31億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億58百万円減少し、自己株式を取得したこと等により自己株式が1億6百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、26.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点では平成24年5月15日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（固定資産の減価償却の算定方法）

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,477	1,295
受取手形及び売掛金	1,778	1,394
たな卸資産	2,858	2,976
その他	317	341
貸倒引当金	10	10
流動資産合計	6,421	5,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,842	1,762
土地	2,481	2,481
その他(純額)	134	108
有形固定資産合計	4,457	4,351
無形固定資産		
	20	16
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,082	1,036
その他	298	193
貸倒引当金	0	-
投資その他の資産合計	1,380	1,229
固定資産合計	5,858	5,597
資産合計	12,280	11,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,935	1,797
短期借入金	800	700
1年内返済予定の長期借入金	771	869
未払法人税等	37	8
賞与引当金	172	85
ポイント引当金	81	92
その他	761	903
流動負債合計	4,559	4,458
固定負債		
長期借入金	3,320	3,364
長期末払金	403	403
退職給付引当金	227	234
負ののれん	30	0
その他	67	26
固定負債合計	4,047	4,028
負債合計	8,606	8,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	403	403
利益剰余金	2,824	2,365
自己株式	0	107
株主資本合計	3,609	3,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	11
その他の包括利益累計額合計	11	11
少数株主持分	75	77
純資産合計	3,673	3,109
負債純資産合計	12,280	11,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,228	16,932
売上原価	13,236	12,444
売上総利益	4,991	4,487
販売費及び一般管理費	4,978	4,843
営業利益又は営業損失()	13	355
営業外収益		
受取利息	8	5
受取手数料	14	12
負ののれん償却額	44	29
その他	80	18
営業外収益合計	147	67
営業外費用		
支払利息	52	49
その他	1	4
営業外費用合計	54	54
経常利益又は経常損失()	107	342
特別利益		
退職給付制度改定益	9	-
特別利益合計	9	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	116	342
法人税、住民税及び事業税	22	12
法人税等調整額	12	3
法人税等合計	34	9
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	81	351
少数株主利益	7	2
四半期純利益又は四半期純損失()	73	353

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	81	351
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3	0
その他の包括利益合計	3	0
四半期包括利益	77	351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69	353
少数株主に係る四半期包括利益	7	2

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。